

授業科目名	教育経営と教職論	担当教員名	吉田 直哉
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許)	開講学年・学期	2年 後期(年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位(30時間)
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応含む。)(教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。))を含む)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	<p>学校教育を支える法・制度、行政の枠組み、学校・学級経営のために求められる理論と方法について、基本的な知識・理解を獲得する。 現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高める。</p> <p>1-教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)</p> <p>(1)教職の意義：我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。 ①公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。 ②進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解している。</p> <p>(2)教員の役割：教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。 ①教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。 ②今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。</p> <p>(3)教員の職務内容：教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。 ①幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。 ②教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。 ③教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。</p> <p>(4)チーム学校への対応 ①校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。</p> <p>2-教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)</p> <p>(1)社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解する。 ①学校を巡る近年の様々な状況の変化を理解している。 ②子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解している。 ③近年の教育政策の動向を理解している。 ④諸外国の教育事情や教育改革の動向を理解している。</p> <p>(2)学校と地域との連携：学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。 ①地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。 ②地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。</p> <p>(3)学校安全への対応：学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。 ①学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。 ②生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解している。</p>		
授業の概要	国や自治体がどのような理念・目標を設定し、制度として公教育を維持運営しているかを理解する(教育法・教育政策・教育制度)。学校という組織をいかに良好に動かすか、学級集団をいかに運営するかを理解する(学校経営、学級経営)。		
テキスト	『法規で学ぶ教育制度』古田薫・山下晃一編集(ミネルバ書房)		
参考書・参考資料等	市川須美子(ほか編)『教育小六法』(学陽書房)		
成績評価の方法	授業へのコミットメント 10%、提出物(コメントペーパー、小テスト) 20%、定期試験 70%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	イントロダクション・教育経営(マネジメント)とは何か		1-(1)-①,1-(1)-②,2-(1)-①
第2回	戦後における学校教育制度の変遷①：高度成長まで		2-(1)-①
第3回	戦後における学校教育制度の変遷②：2000年代まで		2-(1)-①,2-(2)-④
第4回	現代公教育制度の基本原則：憲法・教育基本法における		2-(1)-③,2-(2)-①,2-(2)-②
第5回	現代日本の教育法規		2-(1)-③,2-(2)-①,2-(2)-②
第6回	現代日本の中央教育行政：文部科学省、中教審		2-(2)-①,2-(2)-③
第7回	現代日本の地方教育行政：教育委員会、首長部局		2-(2)-①,2-(2)-③
第8回	学校教育の体系(諸外国の教育制度改革の動向を含む)		2-(1)-④
第9回	学校の組織と経営 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義		1-(1)-①,1-(1)-②,2-(3)-①,2-(3)-②,2-(2)-①,2-(2)-②

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第10回	学級の組織と運営、教員に求められる役割や資質能力 今日の学校教育と教職の社会的意義及び教員の役割・職務内容	1-(1)-②,1-1-(2)- ①,1-(2)-②,1-(3)- ①,1-(3)-②,1-(3)- ③,1-(4)-①/2-(3)- ②,2-(3)-②
第11回	カリキュラムの開発とマネジメント(P D C A サイクル含む) 学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組	1-(2)-①,1-(2)-②,1- (4)-①,2-(1)-②,2-(3)- ②
第12回	地域コミュニティと学校経営：アカウンタビリティの確立 学校が内外の専門家等と連携・分担して、チームとして組織的に諸課題に対応する必要性について①：地域コミュニティとの連携	1-(2)-①,1-(2)-②,1- (4)-①/2-(1)-②,2-(3)- ②,2-(3)-④,2-(2)-②
第13回	学校評価・教員評価と教育改善 教職の意義及び教員の役割・職務内容、服務上の義務規程、身分について	1-(3)-①,1-(3)-②,1- (3)-③/2-(3)-③,2-(3)- ④
第14回	校長のリーダーシップ・教師の専門性の向上 教員の職務内容の全体像と教員に課せられる服務上・身分上の義務	1-(1)-①,1-(1)-②,1- (2)-①,1-(2)-②,1-(3)- ①,1-(3)-②,1-(3)- ③,2-(3)-④
第15回	社会と子どもの変容に対応する教育経営の今日的課題 学校が内外の専門家等と連携・分担して、チームとして組織的に諸課題に対応する必要性について②：専門機関等との連携	1-(4)-①,2-(3)-①,2- (2)-④
定期試験	定期試験	